

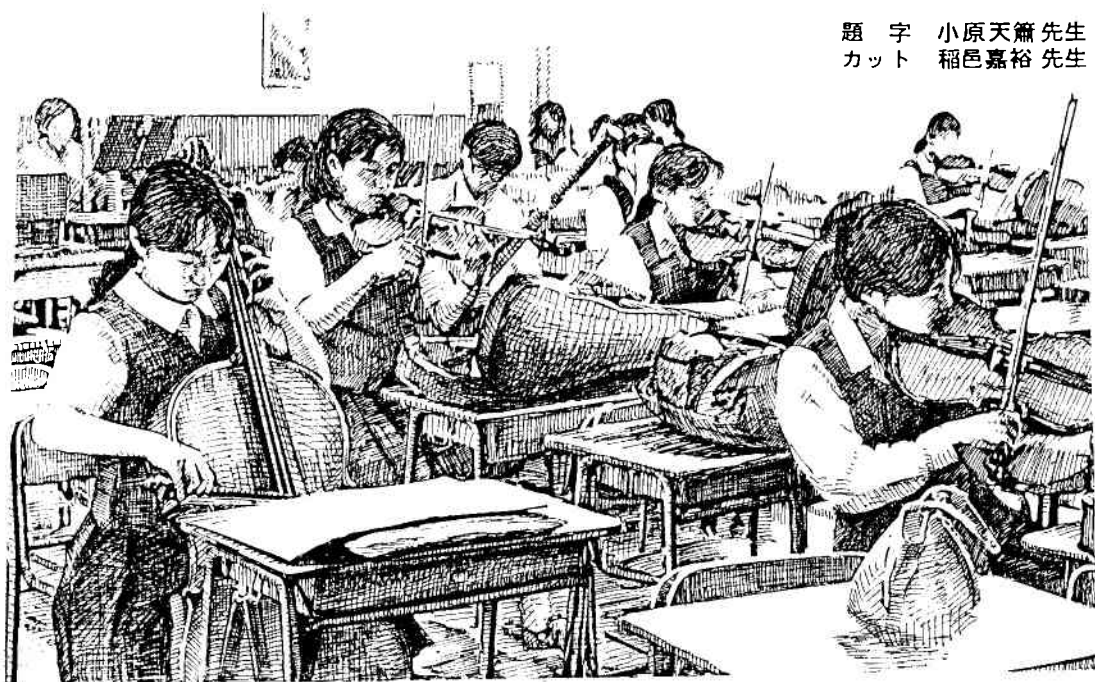
同窓会だより

発行
千葉県立船橋高等学校同窓会

千葉県船橋市東船橋6-1-1
☎ 273 ☎ 0474-22-2188

印刷 株 青 孔 社
船橋市宮本6-31-19
☎ 0474-23-5551

題 字 小原天簫 先生
カット 稲色嘉裕 先生



同窓会に寄せて

積極的な参加を

同窓会長

三代川 幹雄



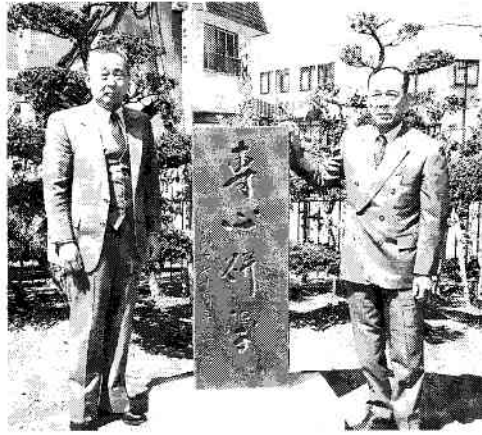
現 千葉県
船橋地区保護司

会長をお引受けして早や一年を過ぎました。私としても同窓会の運営に当り皆様の色々な面での御注告やら御意見をたまわりの会の運営に努力して居りますが、なかなか思う様に行かないのが現状です。会員皆様方の御期待にそえる様一生懸命努力する覚悟であります。それには早く地区の支部結成が望まれます。前校長先生の御尽力で校内の設備は充分に整ったと思っております。他校に負けない設備にして下さいまして、生徒諸君は毎日勉強にスポーツにはげんでおります。本当に心強く思っております。同窓生として学校側に微力で有りますが、何かと協力して行きたいと思っておりますのは私一人とは思って居るのではありません。皆様方も多忙の事と思いますが、後輩の為になお一層の御協力をお願い致します。本年新校長先生を迎え船橋高校も前途洋々です。これからはますます発展する事は目に見えており、心強いかがり御座居ます。同窓会も今後の課題として横の連絡はある程度出来て居る様ですが、縦の連絡網を密にして同窓会を以前以上に盛り立てて行きたいと思っております。それには会員の皆様方の同窓会への理解を深めて行くのが重要な事と思っております。今後同窓会の会合が御座居ましたら、どうぞ万障繰りあわせて御出席ください。心からお願い申し上げます。

七十周年記念事業終わる

懐古園・七十年史 遂に完成

七十周年記念事業の一環として計画され、その完成が待たれていた「懐古園」と、記念誌「千葉県立船橋高等学校七十年史」がともに今春完成し、同窓会員諸氏の目に触れ得ることとなった。



懐古園に『専心研学』の碑

副会長 齋藤和夫

懐古園にて
（前三橋校長と三代川同窓会長）

七十周年記念事業の内、同窓会名簿は同窓会独自の事業として平成二年度末に刊行され、記念誌発行と懐古園が次年度以降へと残された。会員諸氏からもその完成が待ち望まれていたが、記念誌は昨秋十一月、懐古園も今春三月に完成し、ここに記念事業は完了したのである。記念誌についてはこの紙面に紹介した通り、希望者には実費で分けている。懐古園は、旧正門周辺の整備・緑化事業として作られた

創立七〇周年記念事業の一環として、懐古園の設置が計画されておりましたが、他の記念事業やその後行なわれた校舎の改修工事等の関係で、延び延びになっておりましたが、本年三月二十五日めでたくその竣工を迎えることが出来た。

来しました。設置場所は、校庭の北西旧校門の近くの一角で、緑の少ない本校校庭の中では、比較的大きい樹木に囲まれており、暑い季節には緑蔭の下で冥想到にふけることも出来ます。懐古園には、その竣工を記念して設置された創立七十周年記念碑『専心研学』の他に、昭和二十四年三月の卒業生が県立中学最後の卒業を記念して建てた『中学碑』等があります。なにかの機会に母校を訪れることがありましたら、ぜひこの「懐古園」にも足を運んでみて下さい。そして、七十年の伝統を偲ぶとともに、建学の精神を受け継ぎ、二十一世紀に向けて日夜頑張っている後輩の在校生諸君に、今後の母校の益々の発展を期待するエールを送るうではありませんか！

記念誌販売の案内

この紙面で紹介している本校記念誌「千葉県立船橋高等学校七十年史」を御希望の方に実費でお分けております。購入を希望される方は、下記要領でお申し込み下さい。

記

申込先
小石 税 (事務局長)
TEL 0474-22-8835
FAX 0474-34-8818
矢野嘉朗 (事務局長次)
TEL 0474-22-1925
FAX 0474-24-5269
費用 4000円

なお、お送りする場合、送料として1000円弱かかりますので、御了承下さい。

ものである。母校定時制の村山元信教諭の筆による「専心研学」の碑と「中学碑」を囲むように、伽羅や椿、山茶花、馬酔木、栢植玉などが植えられている。これらの木々は、七十周年を記念して寄付していただいたものや校内に以前からあったものを移植したもので、ささやかではあるが、あたたかみのある小園と成っている。



同窓会総会

関連記事は 4.5 面

船高の歴史・補遺 一

小川信雄

『千葉県立船橋高等学校七十年史』(昭和二十四年六月一日現在)千葉県立船橋高等学校生徒会状況については、枚数制限などの関係で詳細にのべる事ができなかった。いま、その内容を詳しく紹介したい。

寒さも一段と増してまいりましたが、皆様には、益々ご健勝にてご清栄のことと、拝察申し上げます。



着任の御挨拶

校長 野老慎二郎

同窓の皆様方には、日頃母校発展のため、種々ご尽力を賜わり、ここに深く感謝いたします。おかげ様で

この史料は「昭和二十四年度参考書類綴」という表題の綴文書にあることになってい

在校生諸君は、この良き教育環境の下で、充実した学校生活を送っております。

平成五年三月で、一八二五六名(大正九年)、全日制)になります。

内の様子を少しお知らせしたいと思えます。

平成六年三月末には完成する予定です。

いが、それも転動で不可能になってしまった。

これは「千葉県教育史第五巻」に掲載されているが、一九四九年四月の生徒会発足の状況を伝えている。

また、学習面ですが、来年度の一年生より、教育課程が

学校の進展等、社会の変化に伴い、大きく変わろうとしてお

同窓の皆様には、同窓会総会(例年八月第一日曜日)の時などに、ぜひ母校へお立ち

並びに指導部教官二名、但し指導部教官は顧問として指導

の座談内容ではGHQ千葉軍政部は船高を六・三・三制教育のモデルとする意向があった

寄り下さい。そして校内をゆっくりご覧になられて、お気づきの点を申し述べていただけ

皆様方の益々の御活躍と御発展を心よりお祈りし、私の御挨拶と致します。

大筋ではその通りなのであるが、この史料からはそれなりに千

葉軍政部の指導があったことなる。千葉軍政部の文書を手に入れることができたので、それを解読しようとしているが、関連する事実が判明するかも知れない。

「(二)生徒会設置の目的」には「会則第二条に規定されている様に『理想的民主主義社会の成員たるにふさわしい品性及び技能を涵養するため各種の活動を行』はせる。活動に於ては他から強圧されないでも自律的に行動し、自己の為し得る行為の限界を識らせ、社会のために何かの役に立つことを学び取らせようとするのである」とある。

この文言は戦後民主主義の揺籃期を反映するものである。ただ「(三)生徒会活動の範囲」には「自律的に行動すると云っても学校の凡ての事項を支配する権利を生徒会が持つわけではない。生徒会の如何なる活動も、原則としては、校長より委任された...許された権限の範囲内で行うのである」とあり、

傍点の文言のように、自治的活動は基本的人権の一環であり、学校(長)といえども制限できぬものがあるとの認識がなく、民主主義の理解は深化していない面もみられる。

活動は基本的な人権の一環であり、学校(長)といえども制限できぬものがあるとの認識がなく、民主主義の理解は深化していない面もみられる。

活動は基本的な人権の一環であり、学校(長)といえども制限できぬものがあるとの認識がなく、民主主義の理解は深化していない面もみられる。

活動は基本的な人権の一環であり、学校(長)といえども制限できぬものがあるとの認識がなく、民主主義の理解は深化していない面もみられる。

同窓会総会開かる 平成五年度 事業報告

今後の同窓会活動に向けての問題点

(一) 役員会について

第一回常任委員会

六月二十八日

議題①平成四年度会計決算

②平成五年度会計予算案

③平成五年度事務局体制

④創立七十周年記念誌

(校史)の取扱い

第二回常任委員会・幹事会

七月二十四日

議題①平成四年度会計決算

②平成五年度会計予算案

③七十周年記念誌の販売

④次期学校活動用自動車

の寄贈案

⑤総会準備

第一回事務局打合わせ会

十月十二日

議題①同窓会だよりの発行

②新春の集い実施計画

(二) 総会及び会計について

平成五年度同窓会総会は例

年通り、八月第一日曜日(八

月一日)に母校セミナーハウ

ス一階食堂において開催され

ました。本年度も参加者は四

十名足らずで、あまり多くは

ありませんでしたが、今回初

めて総会に出席したという昭

和四十八年卒の同窓生数名や

先の衆議院選挙で当選された

日本新党の野田佳彦議員(昭

和五十一年卒)など、例年に

ない顔ぶれで総会は始められ

ました。総会出席者の中で昭

和二十年卒の加藤吉昭氏から

は一般質問の際、伝統ある県

立船橋高校の同窓会活動をも

っと活発化させてほしい、そ

のためには自分も何らかの形

で貢献、協力を惜しまないと

のご意見をいただき、役員も

大いに励まされる場面があり

ました。

以下、総会の内容について

ご報告します。

(一) 平成四年度事業報告

本校同窓会の恒例行事とな

りました「新春の集い」も昨

年度で第五回を迎えました。

本会は卒業学年の枠を越えた

同窓生の交流の場としてスタ

ートし、例年二月十一日の建

国記念の日に実施しています。

昨年度は船橋の東魁楼本店

を会場に開催しましたが、事

前に案内状をつくらず、前同

窓会だよりの小さなスペース

の中だけでの紹介であったた

め、その記事を見落としてし

まった方が多く、当日は例年

より少ない七十名ほどの参加

者で開催せざるをえませんで

した。この反省を踏まえ、次

回開催の際には同窓会だよ

り

に

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

表 1 平成 4 年度一般会計決算書

収入の部

		予 算	決 算	増 減	備考
1	繰越金	現 金	1,067,432	1,067,432	0
2	会 費		1,006,000	1,008,000	全定 445 59
3	雑収入	利 息	8,000	5,030	△ 2,970
		そ の 他			
	合 計		2,081,432	2,080,462	△ 970

支出の部

		予 算	決 算	増 減	備考
1	会議費	総 会	120,000	71,890	△ 48,110
		役 員 会	100,000	81,400	△ 18,600
2	需要費	通 信 費	150,000	45,450	△ 104,550
		印 刷 費	50,000	19,000	△ 31,000
		消 耗 品 費	20,000	19,242	△ 758
		人 件 費	20,000	6,500	△ 13,500
3	後援費	団体支出金	250,000	195,000	△ 55,000
		卒業記念費	120,000	98,280	△ 21,720
		育 英 金	0	0	0
		組織企画費	200,000	10,000	△ 190,000
4	交際費	会 長	20,000	0	△ 20,000
		慶 弔	50,000	20,000	△ 30,000
5	事務局費		100,000	126,500	26,500
6	予備費		81,432	15,450	△ 65,982
7	一般会計積立金へ繰出		800,000	800,000	0
	合 計		2,081,432	1,508,712	△ 572,720

収入・支出差引残金	571,750	次年度へ繰り越し
-----------	---------	----------

回開催の際には同窓会だよ

り

に

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

収入・支出差引残金	571,750	次年度へ繰り越し
-----------	---------	----------

とは別に案内状をきちんと作

成し、多くの方のご参加がで

きるような体制を整えたいと

考えています。

次に本校創立七十周年記念

事業の一環として進められて

きた旧正門付近の「懐古園」

が昨年度末、ようやく完成し、

三月二十五日にその落成式が

行われました。当日は前三橋

校長、杉崎教頭、三代川会長、

斎藤副会長、小石事務局長な

らびに同窓職員出席のもと、

懐古園中の石碑の除幕式から

始まり、記念撮影の後、セミ

ナーハウス一階食堂にて簡単

な祝賀会を催しました。

(懐古園の敷地は予算の関係

で当初の計画より縮小せざる

をえませんでした。古き船

橋高校をしのぼせる懐かしい

場所として、これからも同窓

生のお目に止まればと思っ

収入・支出差引残金	571,750	次年度へ繰り越し
-----------	---------	----------

表5 財産目録

1	一般会計 積立金	2,547,384	次期学校寄贈自動車 資金
2	自動車一台	1,500,000	マツダボンゴLG (60年式)
3	ワープロ	195,000	東芝ポ JW98UP II
	合計	4,242,384	

の一環として、創立七十周年記念誌(七十年史)が、同窓生で本校の旧職員(現在、市立習志野高校)であった小川信雄先生を中心とした記念誌編集委員会により、昨年ようやく完成しました。記念誌作成に際しては同窓会からも予算面で大きく貢献し、完成した記念誌千部のうち、五百部を同窓会で貰い受け、広く同窓生へ販売、配布したいと考えています。販売方法については二面で紹介しましたが、記念誌の内容は本校の歴史及び現在の船橋高校を知るうえで欠くことのできない一冊となるものと確信しています。次に昭和六十年年度、同窓会

から学校へ寄贈した自動車(マツダボンゴ、ワゴン車)は今まで部活動や学校行事の際、機材運搬等において大いに役立ってまいりましたが、今年で八年目を迎え、自動車自体もかなり老朽化してしまいました。また、この車がマニアル車であったため、利用者側から利用したいが、運転しづらいとの声も聞かれています。そこで、同窓会としては一般会計積立金の約二五〇万円(表5参照)を次期自動車購入のための資金にあて、来年度早々に新しいオートマチックのワゴン車を購入し、学校へ寄贈したいと考えています。

(三)今後の問題点について
現在、同窓会だより発行のための資金は創立七十周年記念事業の際、多くの同窓生から協力いただいた寄付金の残金(特別会計)を基にしていますが、将来この資金がなくなつた場合には同窓会だよりを発行できなくなることが考えられます。現在、同窓会費は在校生からの終身会費一人二千円だけです。将来的には卒業生からも会費を集めることが必要になってくるのではないかと考えています。この会費制会員につきまして

は現在検討中ですが、同窓生の皆さんにも考えていただくと思います。

御意見・御希望等ありましたら是非同窓会事務局までお知らせいただけます。

表2 平成5年度一般会計予算案

収入の部		本年度	前年度	増減	備考
1	繰越金	571,750	1,067,432	△495,682	
2	会費	1,014,000	1,006,000	8,000	全定442 65
3	雑収入	5,000	8,000	△3,000	
	その他				
	合計	1,590,750	2,081,432	△490,682	

表3 特別会計
平成4年度決算書

4年4月1日～5年3月31日

①収入		
1.	繰越金	6,013,283
2.	利息	77,574
3.	雑収入(名簿販売等)	23,500
合計		6,114,357
②支出		
1.	同窓会だより発行費	709,389
2.	記念事業基金	0
3.	予備費	0
4.		
合計		709,389
差引		5,404,968 次年度繰越

表4 平成5年度予算案

5年4月1日～6年3月31日

①収入		
1.	繰越金	5,404,968
2.	記念誌代、名簿代売上金	2,000,000
3.	利息	50,000
合計		7,454,968
②支出		
1.	同窓会だより発行費	1,000,000
2.	記念誌編集委員会反省会補助	50,000
3.	次期記念事業基金	6,300,000
4.	予備費	104,968
合計		7,454,968

支出の部		本年度	前年度	増減	備考
1	会議費	120,000	120,000	0	
	役員会	150,000	100,000	50,000	常任理事 増員
2	通信費	150,000	150,000	0	
	印刷費	100,000	50,000	50,000	学校内印 刷代
	消耗品費	20,000	20,000	0	
	人件費	20,000	20,000	0	
3	後援費	300,000	250,000	50,000	
	卒業記念費	120,000	120,000	0	
	育英金	0	0	0	
	組織企画費	200,000	200,000	0	支部助成 金を含む
4	交際費	20,000	20,000	0	
	慶弔	50,000	50,000	0	
5	事務局費	150,000	100,000	50,000	事務局員 増員
6	予備費	190,750	81,432	109,318	
	小計	1,590,750	1,281,432	309,318	
7	一般会計積立金へ繰出	0	800,000	△800,000	積立金補 充なし
	合計	1,590,750	2,081,432	△490,682	



平成五年三月の時点で、本校同窓会は一万八千人を超える会員を有する組織となっている。しかし、一応組織の体は成しているものの、会員相互の情報交換は疎であり、全体として有機的に活動しているとは言い難い面もある。

そこで、各界で様々な活躍をされている会員諸氏をここに御紹介し、七〇余年の本校の歴史の中で輩出した方々の現況をお知らせしたい。このことにより、母校の存在が再認識されれば幸いである。

インタビュイー 林昇志氏(昭和二十八年卒)に聞く 克己の汗

— ホテル経営の夢を実現 —

紺のスーツに身をつつんだ林氏は物静かな温和な紳士である。そんな風貌に似合わず高校時代には、陸上部に籍を置きながら柔道部へ。三年生の時にはキャプテンとして活躍した。スポーツばかりではなく、入学時には「特待生」という、文武合わせもった生徒であった。また、当時、苦学生には購売部を利用して収入を得るのを許されていたので、仕入れや販売等から経営手腕のノウハウに至るまですでに学んでいたようである。

卒業後、証券会社に勤めたがすぐに倒産。西千葉で、寿司屋を開業した。「みどり」

帳にも、社長業としての多忙なスケジュールは勿論のこと、毎日のマラソンの練習量が克明に記録されていた。マラソンも事業も目的意識を持ち、途中で投げ出さないことが、目標達成につながるかと教えてくださった。

平成三年、幕張新都心に長年の夢であった「ホテルグリーンタワー幕張」を建て「みどり」グループの集大成を成しとげた。現在、鮫・割烹「みどり」・柏玉姫殿・千葉互助センター等、年商一三〇億円の売上げを誇るグループの総帥として活躍をされている。ホテル経営のみにとどまらず

新規事業も着々と進んでいるそうだ。

そんな林氏にも、障害や苦労がなかったわけではないが、父親ゆずりの根気強さと情熱がそれを乗り越え、見事に花を咲かせた。

成功への道は、「勇気と決断」であると林氏は結んだ。柔かな面差しの中に、少年のようにキラキラと瞳が輝いているのを見た。ゴージャスな中にも、気品のある氏の経営する「ホテル」のレストランでイタリア料理をいただきながら、氏のモットーである心からのもてなしを受け、初冬の中に浮かび上った白亜の

ホテルを後にした。
林昇志氏 略歴

昭和9年
東京西巢鴨に生れる。
昭和28年3月
本校を卒業。
鮫・割烹「みどり」を創業。
昭和62年
グリーンタワー設立。
平成3年
ホテル「グリーンタワー幕張」を開業。
千葉県優秀建築賞を受賞

「あさひ ふれんど千葉」の 記事から抜き書き

東京西巢鴨生まれ。小学校五年で千葉へ疎開。十八歳で西千葉にすし屋を開店した。
「四、五カ月で自分も握れるようになりました。板前の給料が払えないので独力で経営しました。」

父、清継氏(本名清統)は作家である。昭和四十七年出版の「九十九里叛乱」は十萬部突破の話題作。
毎朝、仕入れは社長の仕事。



平成5年3月の同記事の写真

「戻ってから走ります。」
手帳には毎月走った距離が書き込んである。

夢は「第二第三のホテル展開です。それと三時間を切る記録を長く続けたいです。」

森田三郎氏(昭和四十三年卒)

谷津干潟を守る



定時制創立50周年で記念講演をする森田氏

船橋市宮本生まれの森田氏は、宮本小学校、宮本中学校を経て、家庭の事情で日立製作所習志野工場技能者養成所を卒業。しかし、向学心に燃える氏は、昭和三九年に本校定時制に入學し、昭和四三年に卒業、その後東洋大学文学部英米文学科に進学。大学で心満たされず、卒業を目前に控えた四年生の一月に退學してしまふ。そのような氏が、谷津干潟との関わりを持つよ

うになったのは、昭和四九年のある日、谷津干潟の埋め立てを取りあげた新聞記事とその中の一枚の写真を目にしたことが契機であった。それから氏の地道な、そして孤独な活動が始まった。当時、干潟は東京湾奥部にある数少ない自然の水辺として残っていたが、結果的に古タイヤやマネキンの足、筆筒、冷蔵庫、コンクリート片、更には野菜や魚のくず、残飯などのごみ捨て場と化して

「何とかしなくては...」
新聞配達員をしていた氏は、人の目を気にしながらも、見かねて朝夕の配達後に谷津干潟のゴミを拾い始めたが、周囲の理解は得られず、種々の請願も谷津干潟の埋立の決定を変えさせることはできなかった。昭和五三年には、流木や葦であずまやを作り、夜中でもごみ拾いをし野鳥の繁

京葉ガス株式会社

氏名	所属	卒業年
鈴木 崇司	新日本設備(株) 出向	昭和34
東野 俊章	新日本設備(株) 出向	昭和34
田中 春久	浦安支店	昭和35
地引 久雄	特需営業	昭和40
今給 黎民	市川支店	昭和41
佐藤 孝次	船橋支店	昭和42
黒澤 直研	B 船供	昭和45
	A 橋給	昭和56

船橋信用金庫

氏名	所属	卒業年
青木 正三	常勤 理事	昭和26
堀井 弘	常勤 理事	昭和26
青木 三勝		昭和27
植木 茂俊		昭和27
青木 伸夫		昭和27
鈴木 浅夫		昭和28
湯浅 三豊		昭和29
白石 石谷		昭和30
松本 司勝		昭和34
植金 存雄		昭和35
		昭和35
		昭和37

人物往来

第二回

前号に引続き、地元近隣で活躍する先輩同窓生を紹介します。

殖観察も行った。奇異の目で氏の活動を見ていた住民の中から協力者が現れるようになったのは、その翌年である。その協力の輪はしだいに広がり、『谷津干潟愛護研究会』の結成を見るに至った。昭和五八年頃からは新聞やテレビで谷津干潟が取り上げられるようにまでなった。このゴミ

を拾い続ける地道な努力が認められ、吉川英治文化賞(平成元年)、朝日森林文化賞(同年)を受賞する。
平成五年六月、北海道釧路市で開催された第五回ラムサール条約締結国会議で、条約の登録湿地に認定され、重要な自然環境保護地として国際的に認知された。氏の十八

年にわたる地道な清掃活動があったからこそ、谷津干潟は野鳥の楽園として甦り、地球規模の財産として保護されるべき対象となったのである。「ごみ拾いが好きなんです」という氏は、昭和五九年に転職したタクシー運転手をしながら、今もごみを拾い続ける。

優秀な大学進学実績

船高の進路事情

進路指導部長 油井邦夫

船高は、昭和四十年代以来進学校としての道を歩みはじめてきた。現在では、生徒はほぼ全員大学進学希望である。生徒が目標とする大学は、国立大学では、東大、一橋大、東工大等であり、私立大では、早稲田、慶応等である。いづれも超難関校である。大学合格実績においても、県内進学校として三本指にはいり、優秀な成績を収めている。入学してくる生徒は

母校の現況

中学校でもトップレベルの生徒で、大半は、まじめでよく勉強する。しかし、以前に比べれば、秀才タイプの生徒は多いが、勉強ばかりでその他のことについて、元気がない生徒も増えてきた。

大学の入試システムもだいぶ変わり、国立Ⅰ期・Ⅱ期の時代から、共通一次テスト、センター試験と移行した。その間、受験するときの偏差値

① 平成4年度卒業生 (進学率46%)

進路	生徒数
国公立大学	79
私立大学	124
短期大学	2
準大学	0
専門学校	1
小計	206
就職	0
その他	242
計	448

② 主な大学の合格者数(過去3年間)

区分	大学	3年度		4年度		5年度		区分	大学	3年度		4年度		5年度	
		現	浪	現	浪	現	浪			現	浪	現	浪	現	浪
国公立大四年制	東北	6	5	0	3	5	7	私立	慶應	48	40	26	45	25	62
	筑波	1	7	2	4	8	2		立上智	27	31	23	33	18	39
	千葉	24	16	29	14	24	14		大東	41	93	30	68	42	95
	東京	10	5	5	4	3	6		早稲田	69	89	44	79	42	92
	11	22	8	11	11	20	年		小計	249	351	266	394	195	490
	9	4	7	10	9	10	制		小計	434	604	389	619	322	778
	50	55	46	45	35	61	短期大学		7	10	18	3	10	5	
	小計	111	114	97	91	95	122		合計	552	728	504	813	427	905

船高スポーツ

まだ大会継続中の部もあるが、団体成績を中心に報告する。個人成績では、陸上競技、新体操、卓球、ソフトテニス、その他の部で多くの生徒が県大会出場を果たしている。

新人戦結果報告

- 陸上競技部 男子駅伝 県大会出場
- 男子バレーボール部 県大会出場
- 剣道部 女子県大会出場
- バスケットボール部 男子県大会出場
- 水泳部 県大会にて五位
- バドミントン部 男子県大会にてベスト16

船高芸術

定演の御案内

二月に合唱部、七月にオーケストラ部

。合唱部

新制高校発足と同時に創部の歴史を持つ、伝統のある部活動である。毎春、花の季節を控えて素晴らしい歌声を船橋の空に響かせている。現在、三五名の部員が定演に向けて猛練習中である。曲は「四つの優しき歌」・「食卓の歌」他などの予定。早春の一夜、澄んだ声に耳を傾けては如何。

日時 平成六年二月十二日
午後六時半開演
場所 船橋文化ホール
入場料 無料

。オーケストラ部
昭和四一年器楽部として発足し、今年七月には十七回目の定演を迎えた。今回はチャイコフスキー作曲の交響曲第六番「悲愴」を中心に「ジプシー男爵」一曲などを組み合わせた本格的な演奏活動を行っており、東船橋駅コンコースでの演奏を依頼されるなど、学外にもその実力のほどは認められていく。来年度の定演は次の通り予定している。

- 卓球部 男子県大会出場
- ソフトテニス部 男子県大会出場
- サッカー部 県大会出場
- 市川文化会館にて無料